

謹賀新年



豊田市長
太田 稔彦

新年のごあいさつ

令和7年元日



豊田市議会議長
羽根田 利明

新年あけましておめでとうございます。令和7年の新春にあたり、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、「みんなでつくりつづける」をテーマにした豊田市博物館のオープン、一昨年に引き続き開催されたフォーラムエイト・ラリージャパン2024などを通じて、本市の様々な魅力を国内外に発信することができた1年となりました。

また、パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会では、本市にゆかりのある「わがまちアスリート」の皆さんが活躍され、私たちに大きな感動と勇気を与えてくれました。

さて本年は、本市の将来像である「つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた」の実現に向けて第9次豊田市総合計画が始動します。「つながり」による多様な価値や可能性を創出し、「チェンジ」と「チャレンジ」により、しなやかに変化し続けるまちを目指し、皆様とともに取り組んでまいります。

また10月には国際連合経済社会局（UN DESA）と共に開催するSDGsに関する国際会議「国際首長フォーラム」が日本で初めて本市で開催されます。本市におけるSDGsの取組を発信してまいります。

年頭にあたり、市民の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかな新春を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、パリオリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍が大いに日本国内を沸かせました。豊田市ゆかりの選手も活躍し、メダルを獲得するなど、明るいニュースがあった一方で、元日の能登半島地震に始まり、8月の南海トラフ地震臨時情報発表、各地での豪雨・土砂災害など、改めて自然の脅威について考えさせられた年でもありました。

今年度、市議会においては、「中心市街地活力向上特別委員会」を中心に、豊田市博物館の開館を契機とした「新たな都市施設を生かした中心市街地の活力向上施策」を調査・研究してまいりました。今後は、本市の未来を見据えた、より魅力的な中心市街地の実現につながる提言を行ってまいります。

また、効率的かつ確実な議会活動を推進するため、デジタル技術の一層の活用を図るとともに、市民の皆様には議会を知って理解を深めていただくため、議会広報紙の全面刷新についても進めているところです。引き続き、分かりやすく開かれた議会の実現に向けて取り組んでまいります。

結びに、市民の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。